

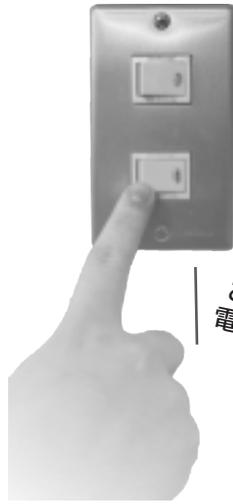
ちょっとした工夫で、家計にも環境にもやさしい生活

家庭で簡単節電

冬の

【詳細】環境課環境政策担当

☎ 381・1395

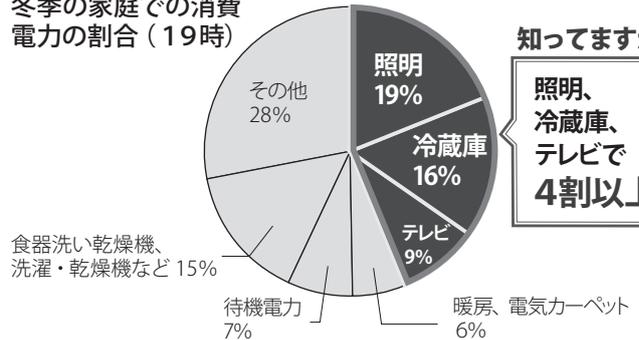


こまめに電源 OFF!

2月は一年で最も寒く、電力などのエネルギー使用量が多くなる時期。冬の節電対策として、家庭で気軽にできる節電メニューをご紹介します。

節電のポイントは照明、テレビ、冷蔵庫。冬季の家庭での消費電力は、照明・冷蔵庫・テレビが4割以上を占めています。消費電力の多い機器にきちんと対応することが節電効果を高めるポイントになります。また、こまめに主電源を切るなど、待機電力の削減にも取り組みましょう。

冬季の家庭での消費電力の割合（19時）



知ってますか？

照明、冷蔵庫、テレビで4割以上!

家庭でできる節電メニュー

照明 白熱電球 (54W) を LED 電球 (9W) に交換
年間約 **2,650** 円の節約 (年間 90.00kWh の省エネ)
1日1時間点灯時間を短くする
白熱電球 (54W) の場合
年間約 **590** 円の節約 (年間 19.71kWh の省エネ)

テレビ 1日1時間テレビを見る時間を短くする
32インチの液晶テレビの場合
年間約 **500** 円の節約 (年間 16.79kWh の省エネ)
【節電ポイント】 テレビ画面やバックライトの明るさを、1段階下げるだけで節電になります。部屋の明るさに合わせた画面の明るさに調整しましょう。

冷蔵庫 冷蔵庫に詰め込みすぎないようにする
年間約 **1,300** 円の節約 (年間 43.84kWh の省エネ)
季節に合わせて設定温度を調整する
設定温度を「強」から「中」にした場合
年間約 **1,830** 円の節約 (年間 61.72kWh の省エネ)

スマホアプリでも、冊子でも「実践!おうちで省エネ」

北海道経済産業局発行の「実践!おうちで省エネ」には、今回ご紹介したほかにも、ご家庭でのさまざまな節電・省エネ対策を記載しています。冊子のほかにも光熱水費記録や節約シミュレーション機能を搭載したスマホアプリもあります。ぜひご利用ください。

入手方法

アプリ 右のQRコードを読み取りとるか、Google PlayまたはApp Storeから無料でダウンロードできます。



冊子 市役所本庁舎1階エコ商品コーナーまたは市役所大麻出張所においてあります。

【詳細】北海道経済産業局資源エネルギー環境部総合エネルギー広報室 ☎ 709-2311 (内線 2634)

除雪工事中のお願い

除雪作業の騒音にご理解ください

朝の通勤、通学時間に間に合わせるため、除雪作業は深夜から早朝にかけて行います。騒音などでご迷惑をおかけしますがご理解をお願いします。



間口の雪処理は適切に

間口の雪は各ご家庭で処理をお願いします。また、間口除雪業者に委託する際は、作業内容を確認し、周囲とのトラブルが無いようご配慮願います。

道路への雪出しはやめましょう

道路に間口や敷地内の雪を出す行為は絶対にやめましょう。事故などの原因や、車両交通の支障となる可能性があります。

除雪前のゴミ出し、車の路上駐車はやめましょう

除雪作業前のごみ出しや、路上駐車は除雪作業の支障となりますので、ご協力をお願いします。

作業中の除雪車は危険です

子どもたちの安全のため、日頃から「除雪車には近づかない」「そばで遊ばない」よう、指導をお願いします。

雪に関する情報は、広報1月号折込の三元気な冬や市ホームページでも公開していますのでご覧ください。

【詳細】土木事務所 ☎ 383・5900

除雪に関するお問い合わせは24時間対応の除雪センターへ ☎ 381・6622

「世界をめざす」大学選手権で初の男女2連覇 今月の顔 札幌学院大学 カーリング部

平成25年に結成した札幌学院大学カーリング部は今年度、全日本大学カーリング選手権大会で男女ともに2連覇を達成。創部から2年で大会史上初の快挙を達成しました。部員たちは「次は世界を」と、練習に励んでいます。



写真提供 札幌学院大学

▲写真1：左上から男子キャプテン谷田康真さん（人文学部3年）、滝ヶ平裕矢さん（経営学部3年）、吉川和希さん（法学部3年）、佐々木樹さん（人文学部1年）。左下から井川真里さん（人文学部3年）、北口瑞季さん（人文学部3年）、白井横吾さん（法学部3年）、夏井坂真由さん（人文学部3年）、女子キャプテン南真由さん（人文学部3年）。



写真2、3：重さ約20kgのストーンを約40メートル先の円を狙って投げます。繊細な感覚と体のバランスが求められます。

高度な戦略とテクニクを求められることから「氷上のチェス」とも呼ばれる競技カーリング。札幌学院大学カーリング部は、発足から間もないながらも、目ざましい活躍を見せています。

チームワークで勝利

同部は男子4名のうち、3名が名寄市、1名が北見市常呂町出身。女子は4名とも妹背牛町出身で、昔からのカーリング仲間です。高校時代に、それぞれチーム名寄、チーム妹背牛を結成してからの絆は強く、高校選手権・ジュニア選手権などで活躍。その後、同大学に入学し、平成25年にカーリング部を結成。今年度、新入部員1名が加わり、現在9名で活動中です。

連覇を達成した平成27年12月の全日本大学選手権。女子キャプテン南真由さんは「苦しい試合もありましたが、チームでミスをカバーし、決勝点を決めることができました」と長い付き合いで築いたチームワークで勝利をつかみました。

世界に向け工夫の日々

同部は発足当時から「世界をめざす」を部員全員の目標に練習に励んできました。国内での活躍にとどまらず、平成26年2月には、2年に一度開催される大学生、大学院生の世界大会「ユニバーシアード」に出場。しかし、海外勢の前に10カ国中、男子7位、女子9位と思うような成績が残せませんでした。女子キャプテンの南さんは、「体力不足や重圧に負けてしまい、

実力を発揮しきれませんでした」と振り返り、練習の工夫に取り組んだといいます。

普段の練習は月寒カーリング場でほぼ毎日行われます。試合を想定し、緻密にコースを狙う練習などを行い、氷上での繊細な感覚を磨きます。シートが確保できないときは、海外での試合の反省を活かし、入念なミーティング繰り返し、試合に臨む意識を選手全員で共有することで、チームワークを重点的に強化しています。

次は世界でメダルを

昨年の試合を経て、世界との差について男子キャプテンの谷田さんは「海外の選手に下に見られていましたが、世界との技術の差はほとんど無いと感じました。次はメダルを目指して必ず勝ちます」と強い眼差しで雪辱を誓っていました。次のオリンピックでは、江別の大学から巣立った選手たちが世界を相手に活躍する姿が見られるかもしれません。

※シートとは氷のリンクに設置されたカーリングを行うレーンのこと